

気象庁障害者活躍推進計画に基づく取組の実施状況（令和２年度）

目標に対する達成度	
① 採用に関する目標	令和２年６月１日現在、法定雇用率２．５％に対し実雇用率は２．９１％となっている。
② 定着に関する目標	令和２年度途中において離職した職員はおらず、引き続き職場環境の整備等を図ることにより、障害者である職員の定着化を推進する。
③ 満足度に関する目標	障害者である職員の約９割が気象庁で働いていることについて満足しており、約８割が現在の仕事の内容に満足している。
④ キャリア形成に関する目標	人事面談やアンケートを行い、個々人の能力や障害の態様・程度等を勘案して、業務の見直し等を実施している。
取組の実施状況	
１．障害者である職員の活躍を推進する体制整備	
(1) 組織面	<ul style="list-style-type: none"> ○実雇用率、定着率、満足度等の目標の達成状況を踏まえ、当初計画に基づいて取組みを実施している。 ○各種相談員等を設置し、組織内の人的サポート体制を整備するとともに、組織外の関係機関と連携体制を構築し、関係者間で必要な情報の共有を図った。 ○役割分担及び各種相談先については、人事異動等に変更が生じるため、定期的な更新を行っている。
(2) 人材面	<ul style="list-style-type: none"> ○障害者である職員と関わりのある職員に対して、「障害者職業生活相談員資格認定講習」や「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」などを積極的に受講させるよう努め、支援体制の強化を図っている。 ○管理者向けの研修において、障害者雇用に関する講義を実施した。
２．障害者である職員の活躍の基本となる職務の選定・創出	
	<ul style="list-style-type: none"> ○定期・随時の面談を行い、担当する業務の内容と障害の特性等に無理がないか、適切な業務量であるか等の把握に努め、個々の障害特性にも考慮しながら職務の選定等に努めた。
３．障害者である職員の活躍を推進するための環境整備・人事管理	
(1) 職務環境	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎新設移転の機会を捉え、各階へのバリアフリートイレの設置のほか、障害者である職員からの要望を踏まえ、就労支援機器の購入等を行った。 ○自動車通勤を必要とする職員に、優先的に駐車場を確保した。 ○テレワーク環境を拡充し、在宅勤務が可能となるよう環境整備に努めた。
(2) 募集・採用	<ul style="list-style-type: none"> ○採用選考にあたり、障害者からの要望を踏まえ、面接等において障害特性への配慮を行っている。
(3) 働き方	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症対策への取り組みとも連動しながら、テレワーク勤務やフレックスタイム制の活用を促進するとともに、時差出勤・早出遅出などの勤務時間制度の利用を促進を図った。 ○時間単位の年次休暇や病気休暇などの各種休暇の利用を促進している。
(4) キャリア形成	<ul style="list-style-type: none"> ○障害者である職員に対する面談等を実施し、個々人の能力や障害の態様・程度を踏まえながら、中長期的なキャリア形成に努めている。 ○本人の希望等も踏まえつつ、eラーニングや独自研修等の教育訓練を実施している。
(5) その他の人事管理	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な面談及び随時の面談を通じて、障害を持つ職員の状況把握、体調把握を行っている。
４．その他	
	<ul style="list-style-type: none"> ○国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく障害者就労施設等への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を推進している。